

行 事 名 称	第117回技術者倫理研究会 例会
開 催 日 時	2025年5月13日（火曜日）18:30～20:30
開 催 場 所	Web中継、各地域本部等
主 催	公益社団法人日本技術士会登録 技術者倫理研究会 <a href="https://engineeringethics-studygroup.com">engineeringethics-studygroup</a>
参 加 者	全国で125名参加(うち北陸本部参加者13名)
演 題	シルバー職の技術者倫理 - 苦難を乗り越えて
講 師	西岡朝明氏 技術士（化学部門）
講 演 資 料	あり
内 容	ご自分が経験した仕事で得られた視点が参考になればと思い、志向倫理の事例を紹介する。 人は対人関係で悩む時、感謝の念から生じる公正感が紛争解決に役立つと考える。友人に与えた不快な思いを、償うことが出来た時、友人は快く赦してくれた。この赦しは、見返りを求める事もなく、心からの謝罪を赦す道徳的行為であり、人は誰もが公正に扱われたいと思うが故に、自分もそうすべきだという強い信念からくる公正感を有している。 技術者倫理でいう志向倫理は公正感の視点を身に付けることに大きく貢献する。又、思い悩む時、客観的に物事を見ようと努力することで志向性が育まれるともいう。 こうした心の持ち様が人間関係改善に有効である。
所 感	技術者倫理の動機、告白した個人事例、技術者倫理、職業倫理、道徳のお話に始まり、ご自身の経験に基づき仕事の価値、公務員住宅管理人業務、技術者倫理と幅広い業務事例について紹介があった。 ご自分が受けた教育から職業倫理、真理を追う事、対人関係の紛争解決を考え、参考図書として遠藤周作さんの「死海のほとり」「海と毒薬」をについて少し変わった切り口でのお話があり、大変興味深かった。
記入者：2025.5.18 倫理委員会 阿部治彦	